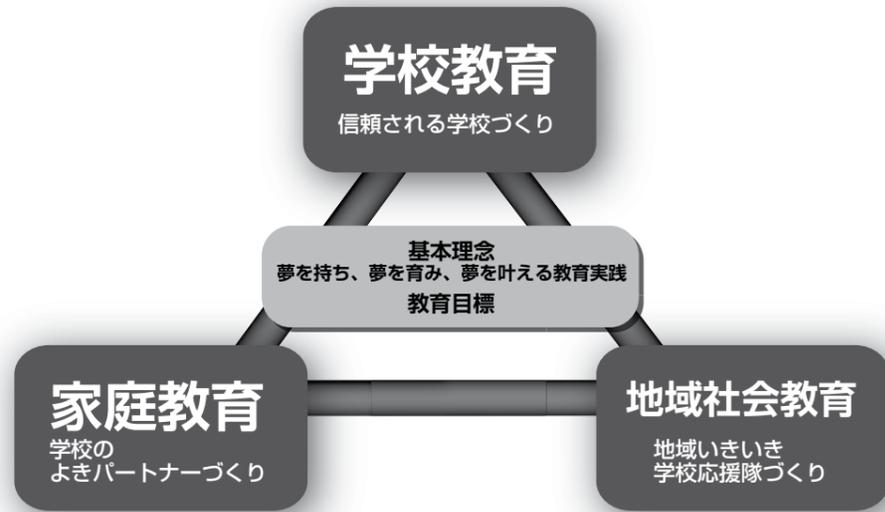


平成23年度 大津町教育基本構想のイメージ



心身ともに健康な生活を送ることが、良い教育につながります

	大津町 現状	大津町 目標値		大津町 現状	大津町 目標値
毎日朝ご飯を 食べている (小中学生)	88.5	95.0	小中学生のうち約 340人が朝食を食 べていません。朝 食は一日の生活の 基本です。きちん と食べましょう。	体力テスト A～C判定 (小学校)	68.8 75.0
午後10時まで に就寝する (3歳～小3)	74.1	85.0		体力テスト A～C判定 (中学校)	80.9 80.0

教育の トライアングル

第二次大戦後、策定された教育基本法。教育政策を進めることで、日本は経済大国として発展し、復興することができました。未来を築いていく子どもたちに教育を進めることで、基礎学力だけではなく生きる力を身につけることができました。

しかし、時代が変われば、時代に合わせた行動が必要になります。平成18年、約60年ぶりに「教育基本法」が改正されました。また本年度から「改正学習指導要領」も小学校に導入され、時代に合わせた教育が進められています。

今を生きる子どもたちに、今、必要な教育は何なのでしょう。

教育には、三角形トライアングルのようなバランスの良い形が大切だと分かってきました。

今回は、大津の小中学校の取り組みを見つめることで、その三角形の3つが何なのかを知ってみましょう。

新学習指導要領がスタート

平成20年3月、政府は子どもたちの現状を踏まえ、「生きる力」を育むという理念のもとに「学習指導要領」を改定しました。新学習指導要領は、小学校では本年度から、中学校では平成24年度から導入されます。知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視しているこの要領。これからの教育は、「ゆとり」でも「詰め込み」でもありません。

次代を担う子どもたちが、これからの社会において必要となる「生きる力」を身に付けてほしい。そのような思いで、新しい学習指導要領はつくられています。そして、「生きる力」を育むためには、学校だけではなく、家庭や地域など社会全体で子どもたちの教育に取り組むことが大切です。

改正教育基本法に込めた日本の教育理念

平成18年12月、約60年ぶりに全面改正された教育基本法の第1条に「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期し

て行われなければならない」と書いてあります。

現代社会は、子どもに対する教育環境が大きく変化してきています。改正教育基本法は「知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間の育成」「公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民の育成」「我が国の伝統と文化を基盤として国際社会を生きる日本人の育成」を教育理念として追加しています。

これらの理念を踏まえ、学校では子どもが主役の愛情と信頼と活気に満ちた学校づくりを進めています。教育基本構想内でも、教育基本法でも示された「知・徳・体」のバランスのとれた取り組みを行っています。

町の教育のカタチ 大津町教育基本構想

そして、大津町はこれからの町の教育を一つの形に表した「大津町教育基本構想」を昨年度に策定しました。広報おおづでも何度か紹介してきたこの「教育基本構想」。基本理念を「夢を持ち、夢を育み、夢を叶える教育実践」として掲げているこの構想は、これからの大津町を背負う子どもたち

に、夢を持つことで、いろんなことに主体的に関わり、意欲的・積極的に行動してほしいとの思いが込められています。そのために、地域に開かれた学校づくりを中心に、家庭教育と地域社会教育のつながりを強くして連携していくことが求められています。

構想の柱になっている「学校教育」は、子どもの教育にとって必要不可欠なものです。教育の中心に位置しているのももちろん、家庭と地域を結びつける役割も担っています。

家庭と学校そして地域とのつながり

では、家庭教育や地域社会教育は、なぜ重要になってくるのでしょうか。上のデータは、朝食を食べているか・早寝早起きをしていくかの調査結果ですが、学校で効果的に教育を受けるためには、子どもの体調管理も大切です。

例えば、早寝早起きをすることは、幼児期に必要な成長ホルモンの分泌も盛んになるのです。朝ご飯をきちんと食べる子どもの学力は高くなっているデータがあります。

地域社会とのつながりは、大津町の歴史や文化を知るためにも必

要です。また、世代間を超えたつながりは、自尊感情を高め、コミュニケーション能力も向上します。このことから、地域との連携が大事であることが分かります。

学校教育は、基礎学力をつけるだけではなくありません。心身ともに健康な人間をつくるという大きな役割も担っています。

「知」「徳」「体」をバランス良く身に付け、これからの人生で自己実現を図ることができるような子どもたちを育成します。知識を学び、「生きる力」と「豊かな心」を身に付けていくためには、地域に根ざした豊かな体験活動にも取り組む必要があります。

今、大津町の小中学校8校では、さまざまな取り組みを行っています。その学校の地域性を生かした教育を進めています。次のページからは、「知・徳・体」ごとに焦点を当てた各学校の取り組みをご紹介します。学校の先生たちの思いや地域や家庭と連携している取り組みをご覧ください。

教育に「知・徳・体」「家庭・地域・学校」のバランスの良い関係が必要不可欠なことが分かります。